

ヒヤリ・ハット調査
「調子が悪い製品を使う危険」
(インターネットアンケート)

平成26年3月

東京都生活文化局消費生活部

目 次

1 調査目的.....	1
2 調査概要.....	1
(1) 基本調査.....	1
ア 調査対象者.....	1
イ 調査期間.....	1
ウ 調査方法.....	1
エ 調査内容.....	1
(2) 事例調査.....	3
ア 調査対象者.....	3
イ 調査期間.....	3
ウ 調査方法.....	3
エ 調査内容.....	3
オ 回答者の属性.....	3
3 調査結果.....	4
(1) 調子が悪いことを知りながら使っていて起きた危害やヒヤリ・ハット.....	4
ア ドライヤー.....	5
イ コンセント、電気コード類.....	7
ウ 扇風機.....	9
エ 家具.....	11
オ コンロ.....	13
カ 暖房機器.....	15
キ 自転車、車椅子.....	17
ク 調理器具.....	19
(2) 「入手」から「不調の認知」までの期間.....	21
(3) 「不調の認知」から「危害等発生」までの期間.....	22
(4) 「不調の認知」後の対応.....	23
ア 「不調の認知」後の対応.....	23
イ 「不調の認知」後の対応（何もしなかった理由）.....	25
(5) 危害等発生後の製品の処理処分状況.....	27
(6) 調子が悪いことを知りながら製品を使った経験.....	28
4 参考資料.....	29

1 調査目的

日常生活で経験した「ヒヤリ・ハット」経験はどこにも情報提供されることなく多数埋もれていることから、都では、危害危険情報を積極的に掘り起こすため、ヒヤリ・ハット調査を実施している。本調査では、調子が悪いことを知りながら製品を使い続ける危険をテーマに、危害やヒヤリ・ハットの経験を調査した。不具合を見過ごしたまま、調子が悪い製品を使い続けた場合には事故に至るおそれがある。身近な製品による危険に対し、消費者に注意喚起を行うこと、及び製造・輸入・販売事業者等に消費者の行動を示して、安全な製品の供給に役立てるための情報提供が目的である。

2 調査概要

本調査では、次の基本調査と事例調査を実施した。

(1) 基本調査

ア 調査対象者

東京都に居住する 20 歳以上の男女 3,000 人

イ 調査期間

平成 24 年 12 月 14 日～平成 24 年 12 月 17 日

ウ 調査方法

インターネットによるアンケート形式で実施

エ 調査内容

ア) 対象品目

調査対象は表 2-1 に示す 8 品目とした。

表中の 1)から 6)は、60 歳以上の人を対象に実施した「シニア世代のヒヤリ・ハット調査（平成 23 年度）」結果において、長く使用した製品での不具合経験が多かった品目である。当該調査では劣化や異常を感じたまま製品を使い続けて危害に至る事例が収集されている。

これに、同調査内で実施した「シニア世代に多い事故」調査の結果、不具合を感じつつも使用を継続しやすく、また事故に至った場合危害程度が大きいと考えられた 7)及び 8)を加え、計 8 品目を本調査の調査対象に選定した。

表 2-1 調査対象品目

電気製品	
1)	ドライヤー
2)	コンセント、電気コード類（テーブルタップ、AC アダプターを含む）
3)	扇風機
家具	
4)	家具（椅子・机等）

燃焼機器他	
5)	コンロ
6)	暖房機器（《電気・ガス・石油》ストーブ、ファンヒーター、エアコン）
自転車等	
7)	自転車、車椅子
調理器具	
8)	調理器具（電気・ガス製品を除く）

イ) 設問構成

設問は以下の5つの構成とした。

- ・異常や不調を感じていた製品で起きた危害やヒヤリ・ハットの経験
- ・「入手」から「不調の認知」までの期間
- ・「不調の認知」から「危害等の発生」までの期間
- ・「不調の認知」後の対応
- ・危害等発生後の製品の処理処分状況

■危害等

けがをしたこと、しそうなったこと。
発火・発煙・引火等になった、なりそうだった事例

オ 回答者の属性

回答者の年代別割合は、次表のとおりである。

表 2-2 基本調査 回答者の属性

	男性(人)	女性(人)	合計(人)
20歳代	300	300	600
年代別割合(%)	10	10	20
30歳代	300	300	600
年代別割合(%)	10	10	20
40歳代	300	300	600
年代別割合(%)	10	10	20
50歳代	300	300	600
年代別割合(%)	10	10	20
60歳代	300	300	600
年代別割合(%)	10	10	20
合計(人)	1,500	1,500	3,000
年代別割合(%)	50	50	100

(2) 事例調査

ア 調査対象者

東京都に居住する 20 歳以上の男女 3,221 人

イ 調査期間

平成 25 年 10 月 23 日から平成 25 年 10 月 28 日まで

ウ 調査方法

インターネットによるアンケート形式で実施

エ 調査内容

調査対象 8 品目について、異常や不調を感じていた製品で起きた危害やヒヤリ・ハットの事例を収集した。回答者に対しては、危害等に至る前にどのような異常や不調を感じていたのかなどについて思い出せる範囲で記述してもらった。

オ 回答者の属性

回答者の年代別割合は、次表のとおりである。

表 2-3 事例調査 回答者の属性

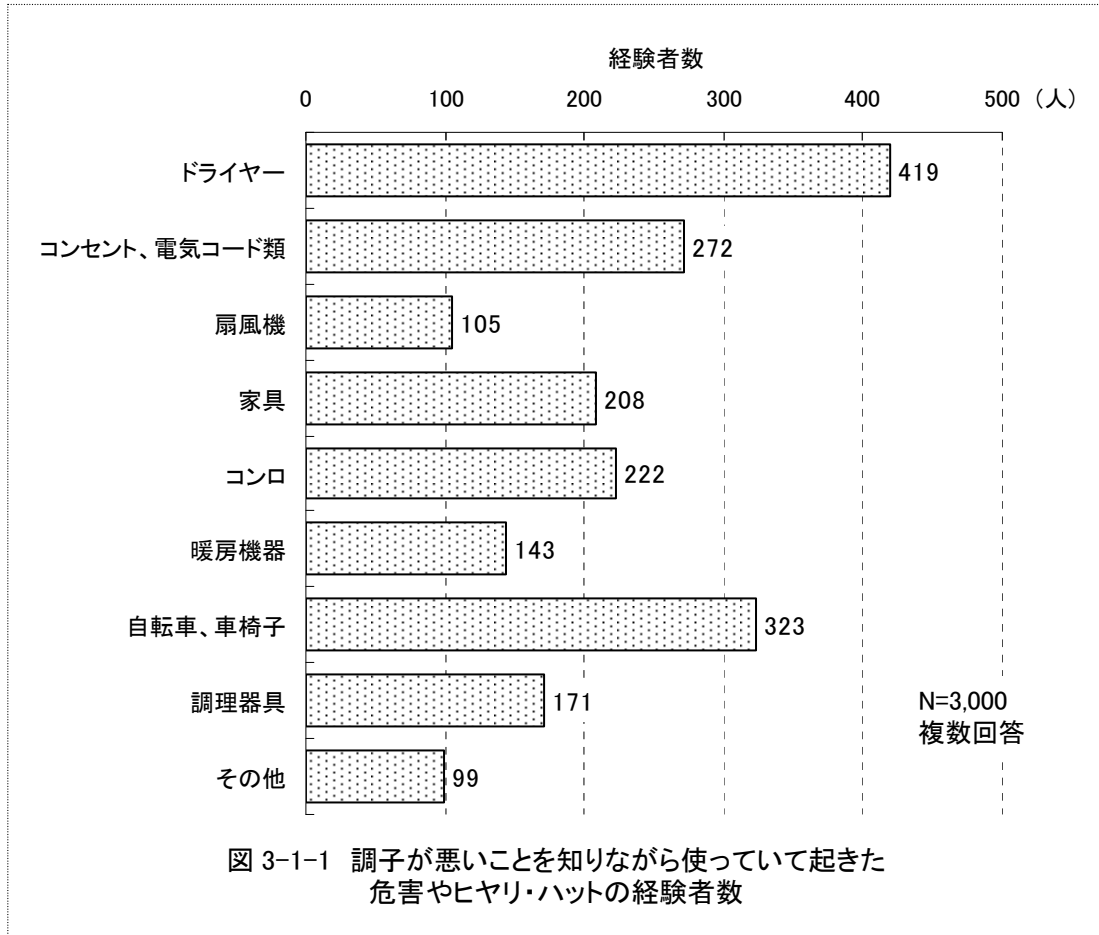
	男性(人)	女性(人)	合計(人)
20歳代	291	326	617
年代別割合(%)	9	10	19
30歳代	320	327	647
年代別割合(%)	10	10	20
40歳代	326	328	654
年代別割合(%)	10	10	20
50歳代	321	327	648
年代別割合(%)	10	10	20
60歳代	326	329	655
年代別割合(%)	10	10	20
合計(人)	1,584	1,637	3,221
年代別割合(%)	49	51	100

(各割合は小数点以下を四捨五入)

3 調査結果

(1) 調子が悪いことを知りながら使っていて起きた危害やヒヤリ・ハット

異常や不調を感じていた製品で起きた危害やヒヤリ・ハットの経験について、調査対象品目中で最も回答数が多かったものは、「ドライヤー」だった。これは過去の調査（「シニア世代のヒヤリ・ハット調査（平成 23 年度）」）と一致した。

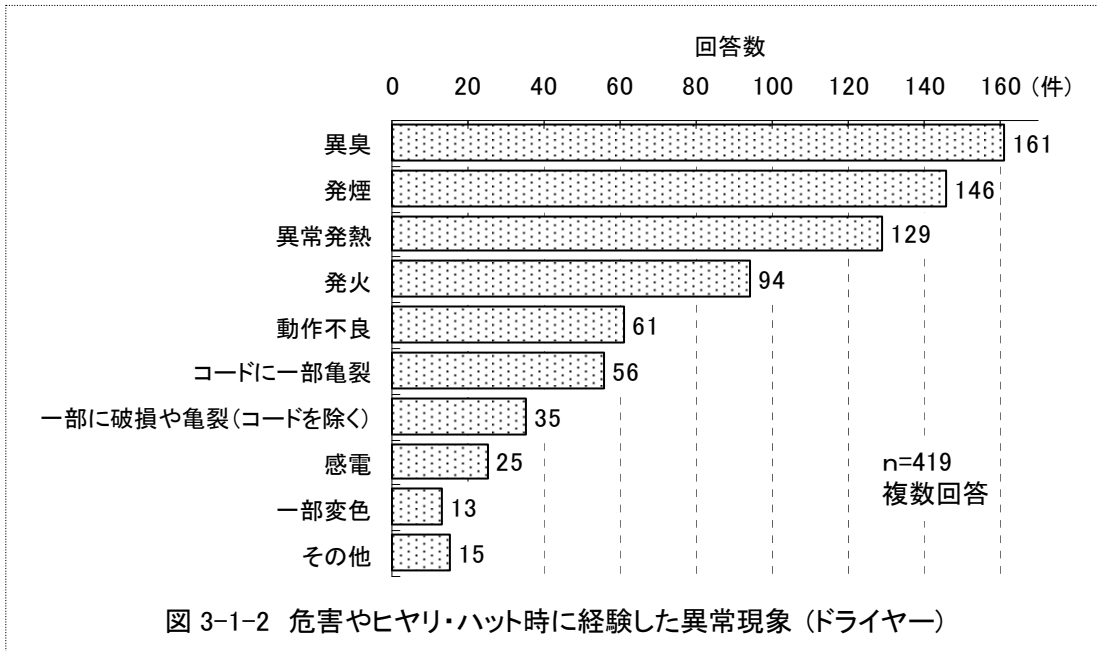


※本報告書における注意事項

- ・グラフ上の「N=〇」（〇は数字）は、回答者の数を示す。
- ・グラフ上の「n=〇」（〇は数字）は、回答者のうち、危害やヒヤリ・ハット経験が「ある」等、回答者の数を示す。
- ・回答比率（%）は、少数第 1 位を四捨五入して表示しているため、合計が 100%にならないことがある。

ア ドライヤー

不調に気づいたドライヤーをそのまま使用しつづけていて危害やヒヤリ・ハットを経験した人の数は 419 人だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で多い回答は「異臭」(161 件) が最多で、「発煙」(146 件)、「異常発熱」(129 件) と続く。重大事故に至るおそれの大きい「発火」は 94 件であった。



事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

事故前不調 事故時の現象	事例	回答者 属性
異臭 発火	焦げくささ感じていたが、ある日、吸気口(網で覆われている部分)から火が出た。火種レベルで燃え続けたものの、その後鎮火して事なきを得た。使用期間は2年程度。若干焦げ臭いなどと思い始めて2~3回後に火を吹いた。	20 歳代 男性
火花 発火	時々火花を噴いていたがそのまま使用し続けたところ、ある日いきなり発火し、その火花が髪の毛に飛び火し、少量ではあるが髪の毛が燃えてしまった事がある。	30 歳代 男性
温風が出ない 発煙	コードがよじれていて、使用中に時々止まったり温風から冷風になったりしていた。コード部分もすごく熱くなって少し溶けていたか感じで、もう限界かなと思っていたら、使用中に突然バチバチという音と共に火花が散り、煙が出た。	50 歳代 女性
動作不良 破損	10 年くらい前。ヘアドライヤーが使用中に急に止まったり、また動いたりしたことがあったが、我慢して使うことに。翌朝、同様の症状が起きたが、使い続けたところ、いきなりドライヤーの根元がとび、ドライヤーを持っていた方の Y シャツの手首の辺りがこけて破れた。	30 歳代 男性
持ち手破損 やけど	ドライヤーの持ち手の部分に不具合が生じ、グラグラして、しっかり支え持たないと、頭に電気の部分がついてやけどしそうになった。新しいものを買に行き時間がないうえ、しばらく使用しているときに、頭はやけどをしませんでしたが、頭をかばって、手にやけどをしたことがあります。	60 歳 以上 女性

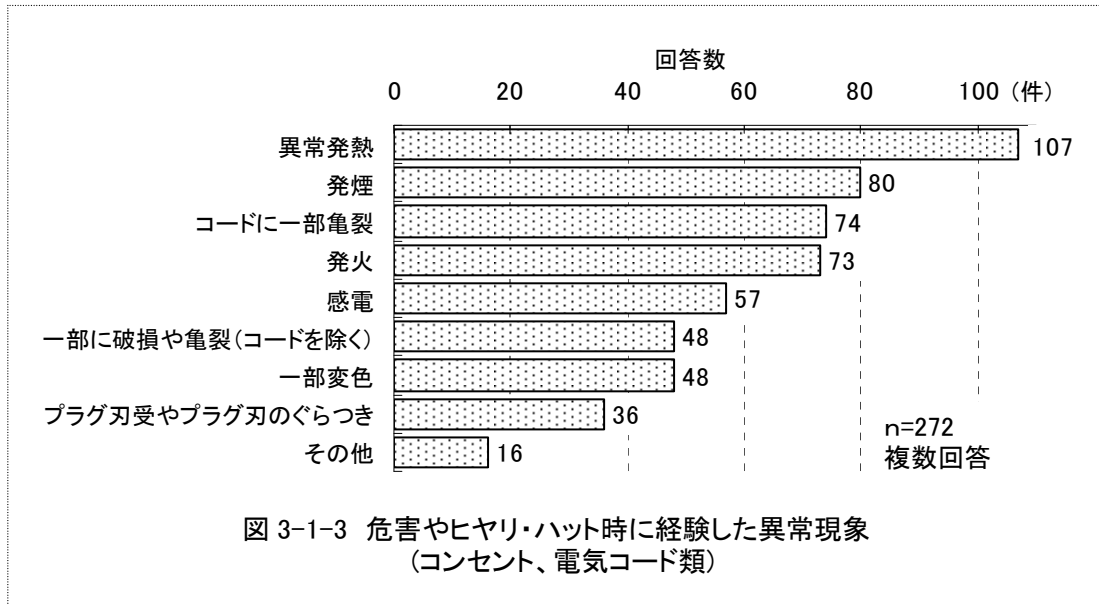
ドライヤーの経年劣化事故には、「焦げくさいにおい」「異常な音がする」「温風がない」等の異常があると言われている。このほか、電源コードを本体に巻きつけて収納すると素線が断線し、ショートから「やけど」や「火災」に至るおそれがあるため、製品の扱い方も注意する必要がある。

— ドライヤーの経年劣化事故の予兆事例 —

- ・焦げくさいにおいがする
- ・異常な音がする
- ・温風がない

イ コンセント、電気コード類

建物に付帯されたコンセント、電気機器等に使用される配線は、日常的に使用するものである。不調に気づいた電気コード類をそのまま使用しつづけて危害やヒヤリ・ハットを経験した人は272人だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で最多回答は「異常発熱」(107件)であった。



事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

事故前不調 事故時の現象	事例	回答者 属性
ゆるみ 発火	昨年、コンセントの差込口が抜けやすい延長コードを使い続けていたところ、刺さりきっていない状態のコンセントの部分にアクセサリーを落としてしまい、火花を散らしてアクセサリーのチェーンが焼き切れた。	20歳代 女性
断線 発火	コンセントの上に物を置いてずっと放置していたら、重みで断線しているところから発火した。	20歳代 女性
発熱 発火、やけど	古い電気コードで、使っていると熱を持つことがよくあったが、そのまま使っていた。ある日掃除機をその電源コードに繋げて使っていて、ふとした瞬間に電源コードを持ち上げるとパチパチという音と共に火花が散って、フローリングに黒い跡が残った。手を軽くやけどした。	20歳代 女性
ブレーカーがとんだ 発火	オーブンとレンジを同時に使用するとキッチンのブレーカーが飛ぶことがあるようになった。数ヶ月後にコンセントの部分が赤く見えるときがあり、これはマズイと感じて、中を分解したらコードが燃えていて、接触不良が起きていました。	60歳以上 男性
コード破損 発火	携帯電話の充電器のコードの付け根が切れ掛かっていたが、何とかごまかしながら使用していたところ発火した。	50歳代 男性

日頃から製品の状態を点検し、異常な状態を見過ごさないことが、事故を未然に防止することになる。アンケートで収集した事例には、断線や異常過熱等で、発火ややけどに至ったものがあった。

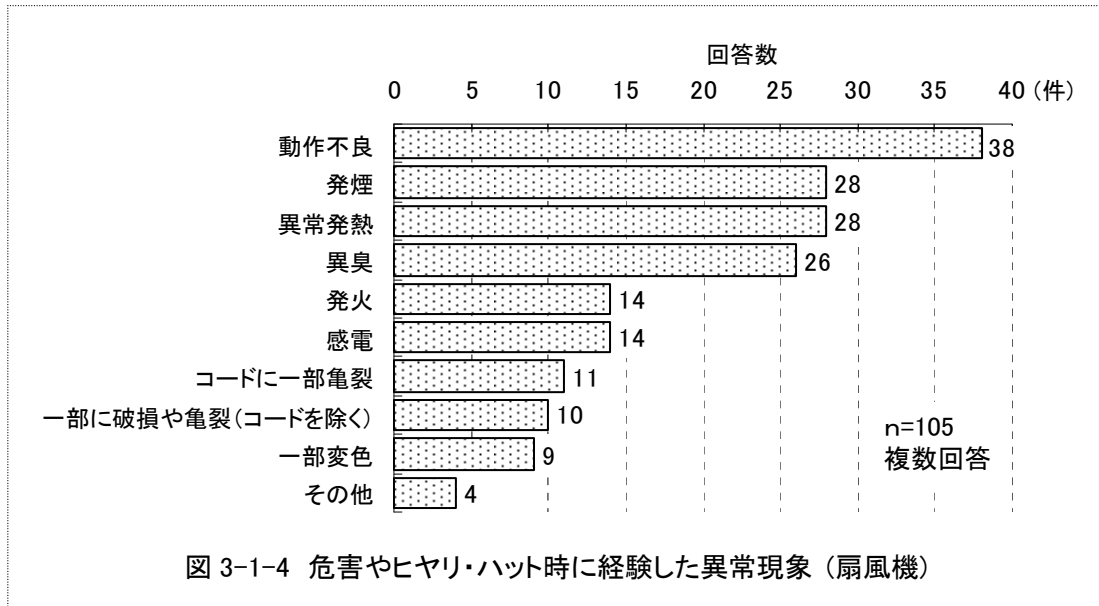
コンセントや電気コード等の点検事例

- ・プラグを差し込んだとき、緩くなっていないか
- ・変色したり、過熱していないか
- ・破損していないか
- ・プラグに埃がたまっていないか
- ・電気コードが敷物や家具等の下敷きになっていないか
- ・電気コードを動かすと、電源が入・切しないか

注意を要する製品の使い方として、電気コードをステーブルや釘で壁面等に固定することが挙げられる。電気コードに異常な力が加わり、素線が傷ついたり、ステーブル等の金属に接触して感電やショートが発生し「やけど」や「火災」に至るおそれがある。このほか電気コードを束ねたまま使用すると放熱が妨げられ、発熱し発火のおそれがある。

ウ 扇風機

不調を感じたまま扇風機を使用していて危害やヒヤリ・ハットを経験した人は105人だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で最多回答は「動作不良」(38件)であった。重大事故に至るおそれの大きい「発火」は14件あり、「感電」も14件あった。



事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
動作不良 発火	古い扇風機が睡眠中に火を出して危うく火事になるところだった。つけたとき羽根の転りが気持ち重たく感じた。モーターから火を出した。	60歳以上 男性
異音 発煙	購入後、半年ほどしてからおかしいノイズがするようになった。そのまましばらく使っていたら、モーター部分から発煙した。	30歳代 女性
羽根が欠ける 粉々に破損	子供が扇風機のコードにつまづき、本体が倒れた。その時ホンの少し(2mm)ほど羽がかけてしまったが、一夏はどうにかなるか、安易に使用。2週間ほどしたら、突然ぱりぱりと大きな音を立てて羽が割れて粉々に飛び散った。近くに誰もいなかったので怪我はなかったが怖かった。	40歳代 女性
カバー変形 子供がけが	長年使っていた扇風機のおおいの間隔で、部分的に広がったところがあり、6歳の息子が指を入れてしまいました。扇風機がほとんど止まりかけの状態だったのが幸いで、すぐに病院へ行って見てもらい、擦り傷程度ですみました。	50歳代 女性
グラつき 破損だけが	数年前から首の根元がぐらついており、持ち上げて移動する際にスポットはずれ、指を挟まれて軽く出血してしまった。	30歳代 女性
動作不良 けが	扇風機が突然止まり、蓋をあけてみようとしたとき、また動き、指が挟まり、出血がとまりませんでした。	30歳代 男性

扇風機の事故によって、火災が発生することもある。

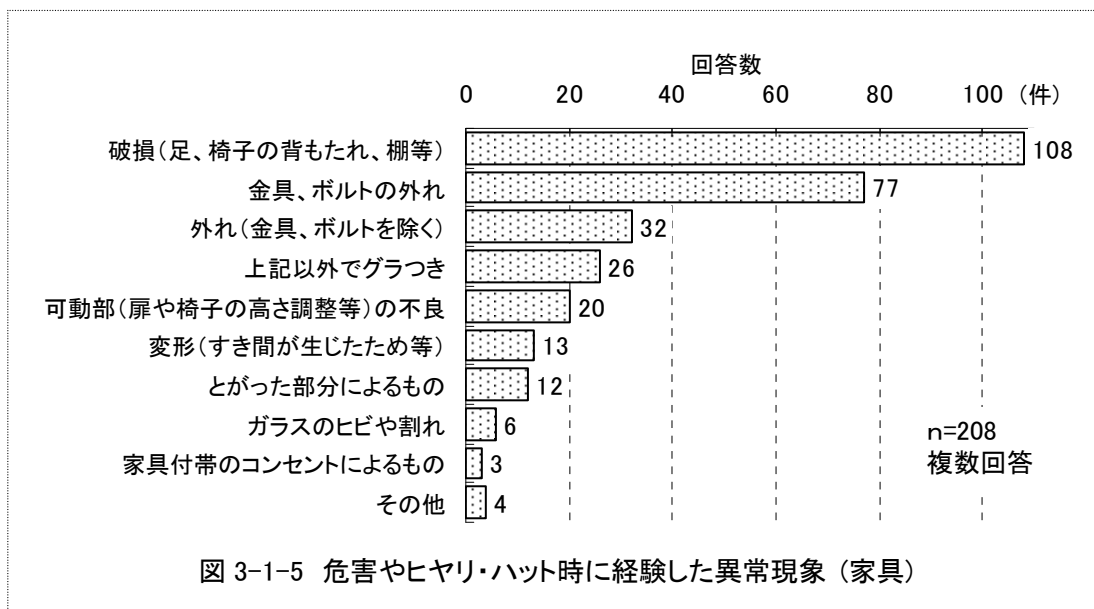
次のような異常があれば使用を中止し、メーカーや販売元に相談する等、安全に配慮して行動することが必要である。

扇風機の異常事例

- ・スイッチを入れても、ファンが回らない
- ・ファンの回転が異常に遅い、又は不規則にファンが回転する
- ・ファンが回転するときに異常な音や振動がする
- ・モーター部分が異常に熱い、又は焦げくさい臭いがする
- ・羽根にヒビが入っている。ガードが変形している
- ・電源コードが折れ曲がったり、破損している
- ・使用中に電源コードに触れると、ファンが動いたり止まったりする

エ 家具

不調を感じた家具を使用していて危害やヒヤリ・ハットを経験した人は208人だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で多い回答は「破損」(108件)や「金具、ボルトの外れ」(77件)であった。



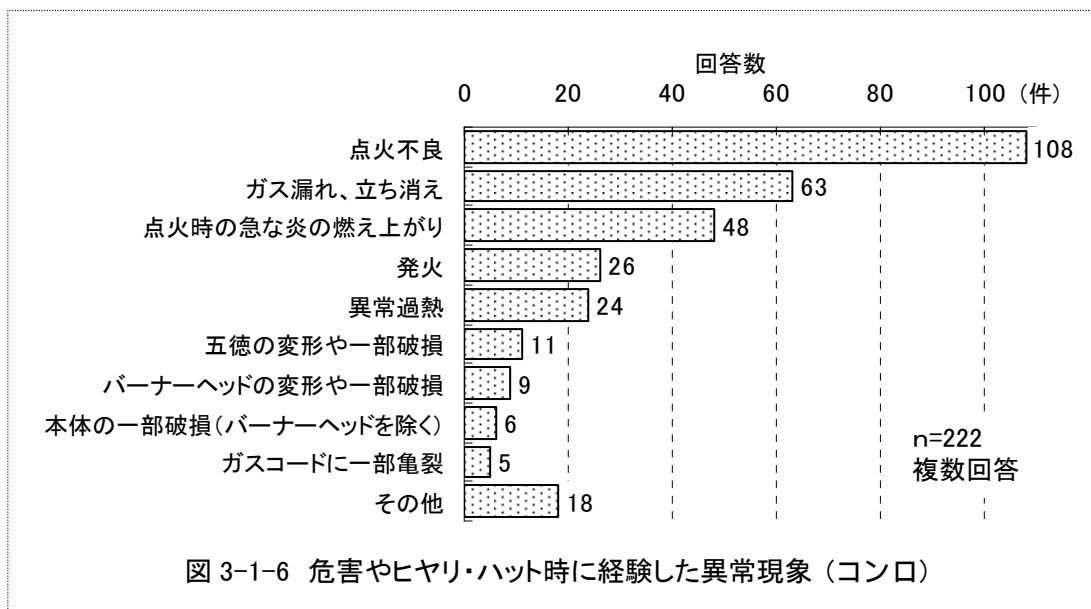
家具の不具合に起因の転倒は、大けがに至るおそれもある。事例でも、打撲ややけなどの事例が挙げられている。家具は時間が経過するにつれて、ネジの緩みによるガタツキ等が生じてくる。製品の取扱説明書等をよく読み、安全な使い方をする必要がある。

事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
グラつき 破損で転倒し けが	一年前に購入したデスクチェア。買って5か月ほどで、座る部分を支える主軸がぐらついているのに気が付いたが放置。そのまま使い続け、あるとき座っているときに主軸がポキッと折れて、横向きに転倒。肘を強打して、後に大きく腫れた。	20歳代 男性
変形 子供がけが	いす背もたれから釘が出ており、子供が遊んでいて裂き傷を作ってしまった。	50歳代 女性
バンド外れ 子供が転落し そうになる	子供用のいすのバンドが外れていたがそのまま使用。大丈夫だと思っていたが、子供が身を乗り出した時に危なく落ちそうになった。実際には落ちる前に気付いたため大丈夫だった。	20歳代 女性
グラつき 破損しけが (やけど他)	15年以上前に購入した折り畳み式の座テーブル。2,3年前から、座テーブルを支える4本脚の一つがぐらつくようになり、ガムテープで補修して使用。去年、家族で鍋料理の夕食をとっているとき、母が立ち上がろうとテーブルに手をついたときに、ガムテープがずれて、テーブル部分が崩れ、鍋料理がひっくり返り、母の向かい側にいた私が腕にやけどをしました。母も突き指をしました。その座テーブルですが、瞬間接着剤やらガムテープで補修して、現在も使用しています。当然ですが、折りたたむことはできません。	60歳 以上 女性
グラつき 破損し落下	二段ベッドの上段がぐらついていたがそのまま使っていた。その後ベッドの底が抜け、下段に落下した。	20歳代 男性
変形 破損しけが	海外ブランドの大量量販店の家具屋で購入したチェスト。自分で組み立てて、問題なく使っていたが、そこまでパンパンに衣類を入れていたわけでもないのに引き出しの底がゆがんできた。それでも気をつけながら使っていたらある日そこが抜けて、木材の破片で怪我をした。	20歳代 女性

オ コンロ

不調を感じたコンロを使用していて危害やヒヤリ・ハットを経験した人は222人だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で多い回答は「点火不良」(108件)、「ガス漏れ、立ち消え」(63件)であった。



事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
動作不良 頭痛等 (ガス漏れ)	台所でガスコンロのスイッチを入れたが なかなかつかなかったり ついてもすぐ消えてしまい おかしいなと思いながらいたら そのうち目がちかちかして来たり 頭痛がしたりして 窓を開けたら大丈夫になったが もしかしたら酸素不足で 危なかったかもしれないことがあった。	50 歳代 女性
異音 やけど	3年前に使っていたコンロにおいて、ガタガタ音がしており、突然爆発して、手首にやけどを負いました。すぐに医者にいきましたが、跡がのこっています。	30 歳代 男性
動作不良 やけど	ガスコンロの着火電池が消耗しており、マッチで着火していた時期があるが、着火のタイミングを間違えて漏れていたガスに着火したことがある。その際、指先を受傷した。(やけど)	20 歳代 男性
動作不良 ガスに引火	ガスコンロをつけようとしたときになかなか火がつかず何回か回したときにコンロから大きく火が出て服が燃えそうになった。	40 歳代 女性
清掃不良 火災	魚焼きグリルに油がたまっていて、魚を焼いていたらそれに引火し、しかも別の部屋にいたので気づかず、炎が 50 センチ以上あがっていて、黒煙が換気扇からバンバン出る頃気づいた。結局すぐに消せないで消火器をかけた。	50 歳代 男性

コンロの事故は火災等の大事故に至るおそれも大きい。事例にあるように、次のような異常があれば直ちに使用を中止し、メーカーや販売元に連絡することが必要である。

コンロ

【目視等による確認】コンロ各部の変色、変形、破損、バーナーの腐食、点火つまみのガタツキ、ガス臭い

【点火異常】なかなか点火しない、すぐに消えてしまう（立ち消え）

【炎の様子】炎が大きくなる、大きくなった、炎が黄色(赤)になった

【異音】点火時の音が大きくなった、使用中に異音がする

【その他】天板が異常に熱くなる、度々エラーが表示される

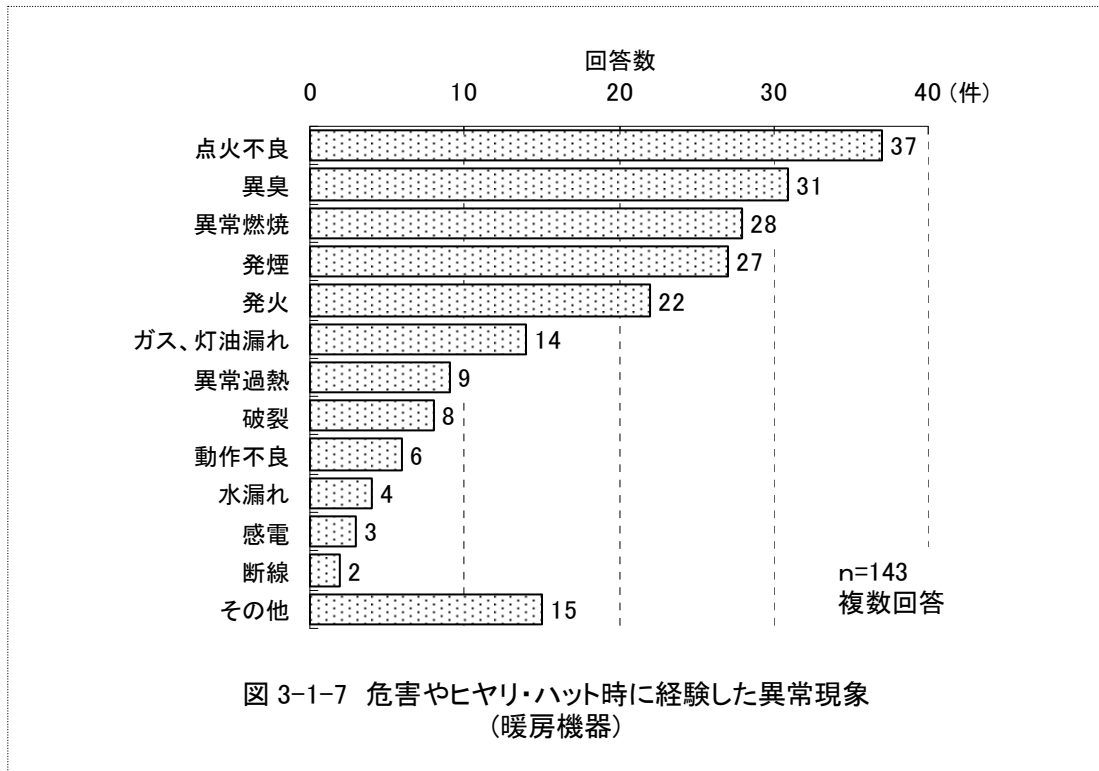
接続具（ガス用ゴム管、ガスコード、ガス栓）

【目視等による確認】ひび割れ・変形・変色している、穴が開いている、ガス臭い

【着脱時】差し込みにくい（カチッと音がしない）、差込部がグラグラする、外しにくい

カ 暖房機器

不調を感じたままストーブ等を使用していて危害やヒヤリ・ハットを経験した人は143人(5%)だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で最多回答は「点火不良」(37件)であった。重大事故に至るおそれの大きい「発火」(22件)等の事例もあった。



事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

【石油ファンヒーター】

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
発煙 異常発火	石油ファンヒーターを使用中に白い煙が出てきて火が消えた。再びスイッチを入れたら、温風の吹き出し口から激しい炎が出てきた。	40歳代 男性
動作不良 異常発火	石油ファンヒーターの炎が突然消えてしまい、再度点火しても数分で何度も消えてしまう。それを繰り返していたら、黒い煙とともにボンと小爆発した。怪我はしなかったが、ひやりとした。	60歳以上 男性

【ストーブ】

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
異音 異常発火 物損	ストーブにおいて、がたつく音が聞こえたあと、小さな爆発音でカーペットの周りがこげてしまいました。	30歳代 男性

【エアコン】

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
異音、異臭 動作不良 動作停止	3 年程前まで住んでいた賃貸マンションで利用していたエアコンでの出来事である。そのエアコンは、設置後 10 年程たち、購入を検討している段階であったが、あるとき、急にパチパチという音がして、かつ、各機能レベルも一気に落ちた。その後、焦げ臭さが 1 週間ほどしたが、何もなかったため、特に何もしなかった。その 1 年後、ボンという音がして、一時機能不全になり、その後は利用しなかった。大事には至らなかったものの、ひやりとした出来事だった。	30 歳代 男性
調子が悪い 水漏れ	夏にエアコンの調子が悪いと思いながら使用していたら、沢山の水が噴き出した。かなりの量だったので、ビックリしたのと笑いが出てしまった。	40 歳代 女性

【オイルヒーター】

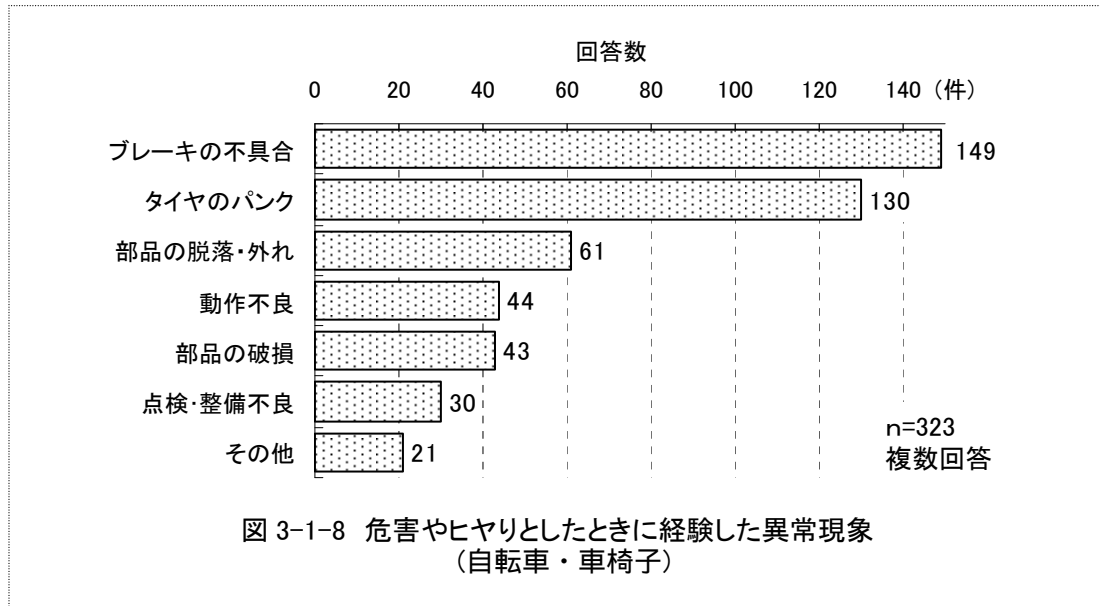
事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
液漏れ 発火	長年使用していたオイルヒーターで、少し前から変な音と液漏れのような表面に茶色い液体のようなものがみられた。そのまま使用していたら液漏れが酷くなり、コードがただれて火花もでた。やけどまではいかないがとても熱かった。	20 歳代 女性

次のような製品異常には注意が必要である。電気コード部分に関しては、前述「コンセント、電気コード類」を参照すること。

【電気ストーブ】	本体の変色、焦げくさいにおい
【石油ストーブ・ファンヒーター】	燃料タンクからの灯油漏れ、異音、異臭、異常振動
【ガスストーブ・ファンヒーター】	異音、焦げくさいにおい、ガス臭、 ガス用ゴム管のひび割れや接続不良
【エアコン】	焦げ臭いにおい、ブレーカーが頻繁に落ちる、 室内機から水漏れ、運転音が高くなる、 架台や吊り下げなどの取り付け部品の腐食

キ 自転車、車椅子

不調を感じたまま自転車等を使用していて危害やヒヤリ・ハットを経験した人は 323 人だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で多い回答は「ブレーキの不具合」(149 件)、「タイヤのパンク」(130 件)であった。



出典 日常的な点検整備のポイント (東京都青少年・治安対策本部)

事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

【自転車】

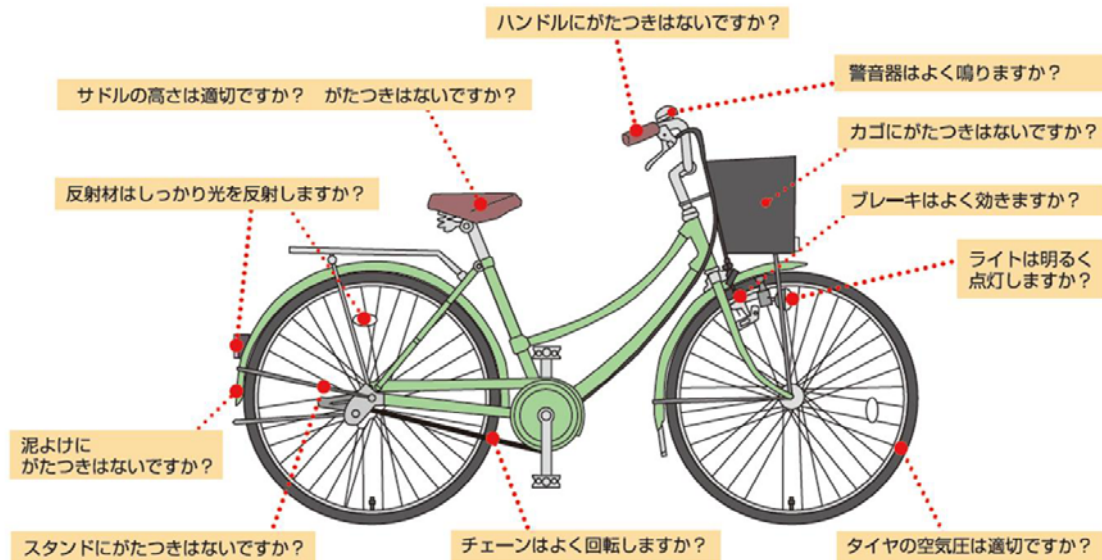
事故前不調 事故時の現象	事例	回答者 属性
ブレーキ不良 タイヤ磨耗 転倒	ブレーキのききが悪かったり、タイヤの溝がすり減ってなくなっていた。娘をのせたまま道路で滑って転んでしまった。	20 歳代 女性
ネジの緩み 転倒だけが	自転車のハンドルのネジが緩んでいて、治すのが面倒だった為そのまま乗っていると、立ち乗りをした時にいきなりハンドルが下がり、自転車から落ちて顎を怪我した。	20 歳代 男性
足避けガード のグラつき 破損	子供のせ自転車の後輪の足避けガードが一月前からグラグラしていたが気にせず使っていたが走行中に派手に割れてしまい、歩行者や子供が怪我をするところだった。後日、メーカーから大々的に、使わないでくれと案内が出た。	30 歳代 女性
ブレーキ不良 交通事故寸前	数年前にネット通販で購入した自転車について、前輪ブレーキの効きが甘い状態であったにもかかわらず、地元の複数の自転車販売店は、自身の店舗で購入した以外の自転車のメンテナンスを行ってくれなかった。このため、雨上がり直後に自転車に乗っていた際にブレーキが効かず、走行中の自動車に衝突しそうになった。	40 歳代 男性

【車椅子】

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
ガタつき 溝にはまり動 けず	車いすのガタつきがあるのを我慢して使い続けていたら、外で溝にはまってなかなか抜け出せなくなってひやりとした。線路の上でなくてよかったと思う。	50 歳代 女性

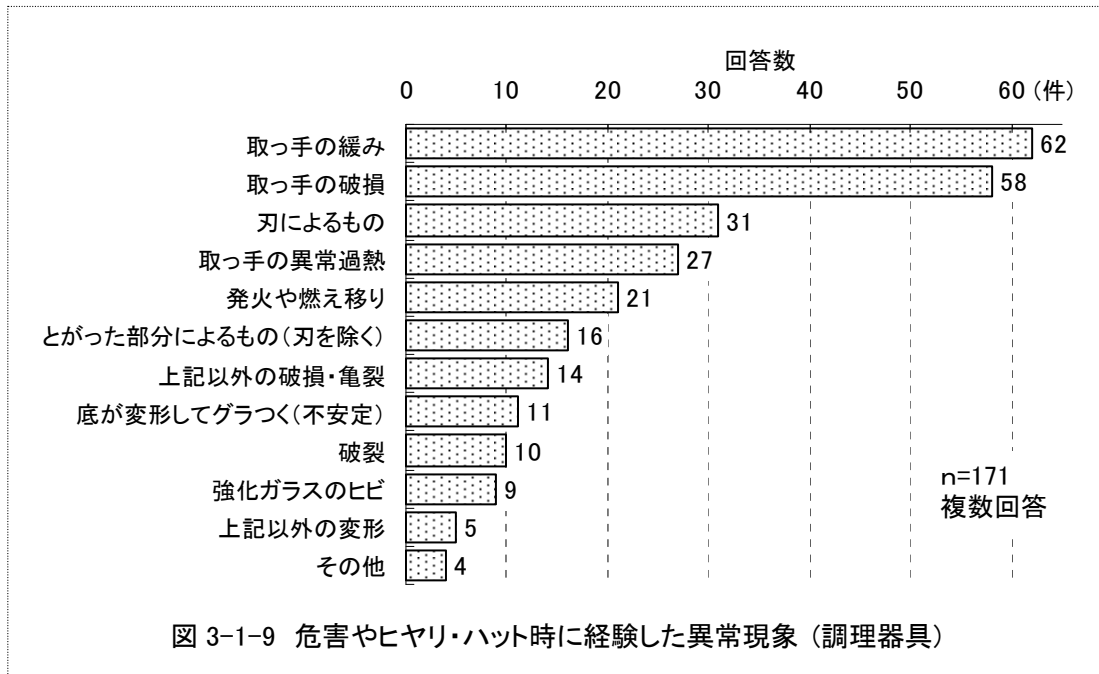
「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」において、自転車の日常的な点検整備等が努力義務とされている。収集事例では、ブレーキの緩みやハンドルのがたつきをそのままにして、大きな事故に繋がっている。また、収集事例以外でも、タイヤの空気不足でリムバンドが車軸に絡まり転倒した事例も起きている。大きな事故に繋がるおそれがあり、乗車前に異常がないかの点検と整備は不可欠である。

日常的な点検整備のポイント



ク 調理器具

不調を感じたまま調理器具を使用していて危害やヒヤリ・ハットを経験した人は 171 人だった。危害やヒヤリ・ハット時の製品状態で多い回答は「取っ手の緩み」(62 件)、「取っ手の破損」(58 件)であった。



事例調査で寄せられた経験談を次に示す。

【フライパン】

事故前不調 事故時の現象	事例	回答者 属性
取っ手のグラつき 調理品発火	大きめのフライパンで取っ手の部分がグラグラしていたものがあり、不安定なまま使っていたら突然取れて中身がこぼれコンロに落ちて火柱がたった。しかも一歩間違えば手は勿論、足までやけどどころだった(直前で避けてやけどはしなかった)。種類としては取っ手は取り外し式ではなくくっついているタイプで、5年以上使用していた。グラつきは半年～1年前から気になり始めていた。	20 歳代 男性

【鍋】

事故前不調 事故時の現象	事例	回答者 属性
取っ手のグラつき やけど	なべの取っ手が木製でネジで止まっていたのですが、ガスの火で焦げてグラついたが、そのまま使ったら取り上げるときに外れ、中の物が足にかかり軽いやけどを負った。	50 歳代 男性
パッキン破損 やけど	数年前、圧力なべのパッキンが割れてしまったが、そのまま使い続けていたら、思わぬところから蒸気が漏れて、やけどをしそうになった。	40 歳代 女性

【鍋の蓋】

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
部品不良 やけど	鍋の蓋のつまみの調子がわるいまま使用していたら 沸騰したので鍋の蓋を持ち上げようとした際 つまみがとれて やけどをしました。塗り薬で3-4日かかりました。	60歳以上 男性

【ざる】

事故前不調 事故時の現象	事 例	回答者 属性
一部破損 出血	ステンレス製のざるの一部分が破損したまま使用。手に刺さりそうだと思いながらも、しばらく使い続けているうち破損箇所が大きくなり、指に刺さって出血してしまった。けがはたいしたことはなかった。	50歳代 女性

取っ手の不具合により、過熱した状態の鍋を落とすとやけどに至るおそれがあり非常に危険である。

また調理器具は熱を加えて使用するものや鋭利なもの等、けがの要因になりやすい製品がある。経年劣化等で不具合が生じることもあり、製品の異常には注意が必要である。

調理器具の異常事例

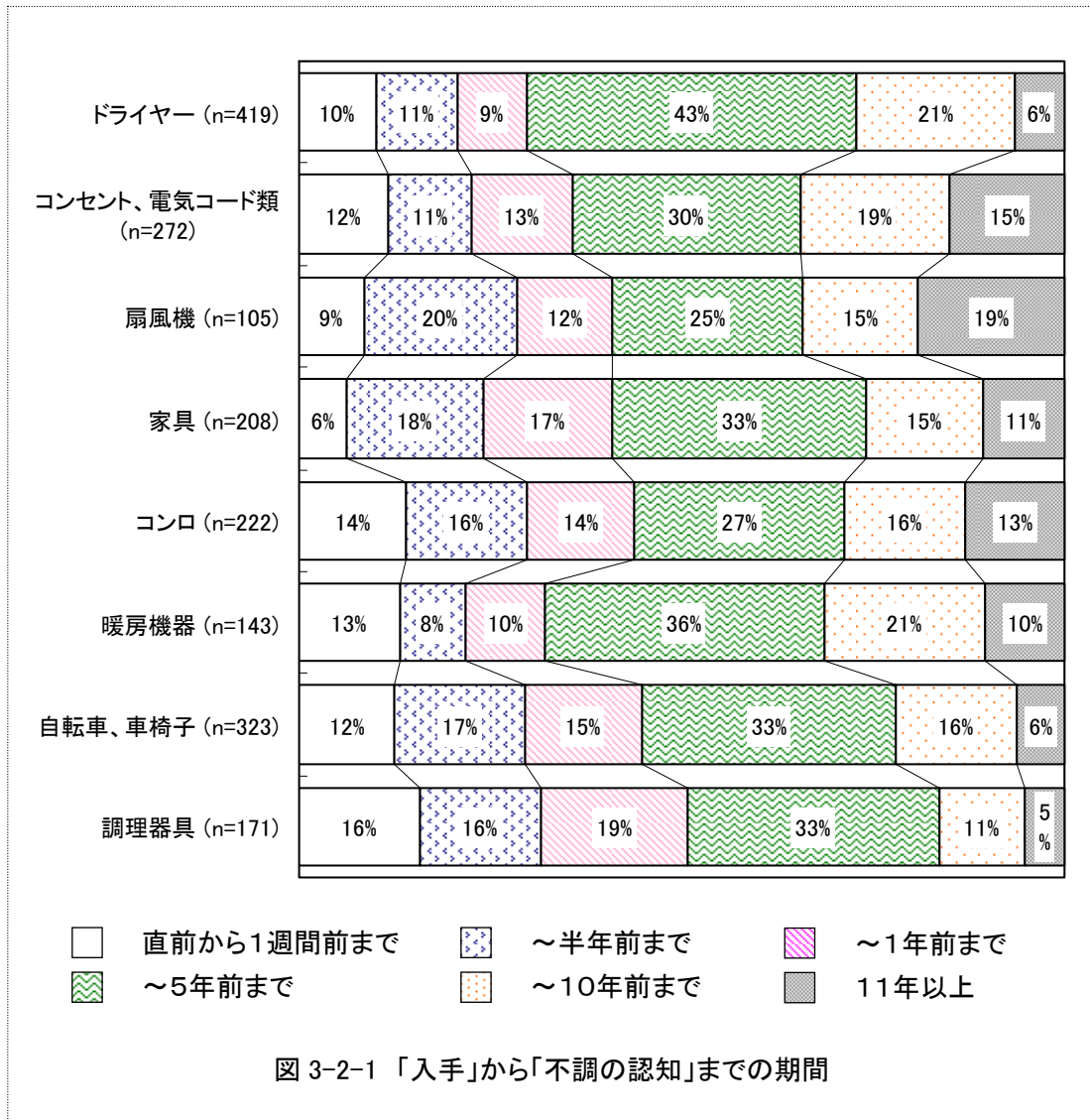
- ・取っ手の焦げやヒビ割れ
- ・取っ手のグラつき
- ・強化ガラスの傷

(2) 「入手」から「不調の認知」までの期間

2割を超える人が、購入後又は入手してから半年のうちに調子が悪くなったと回答している。5年を超えてから調子が悪くなったものでは、「コンセント、電気コード類」(34%)¹「扇風機」(34%)²が多くなっている。

1 「～10年前まで：19%」「11年以上：15%」

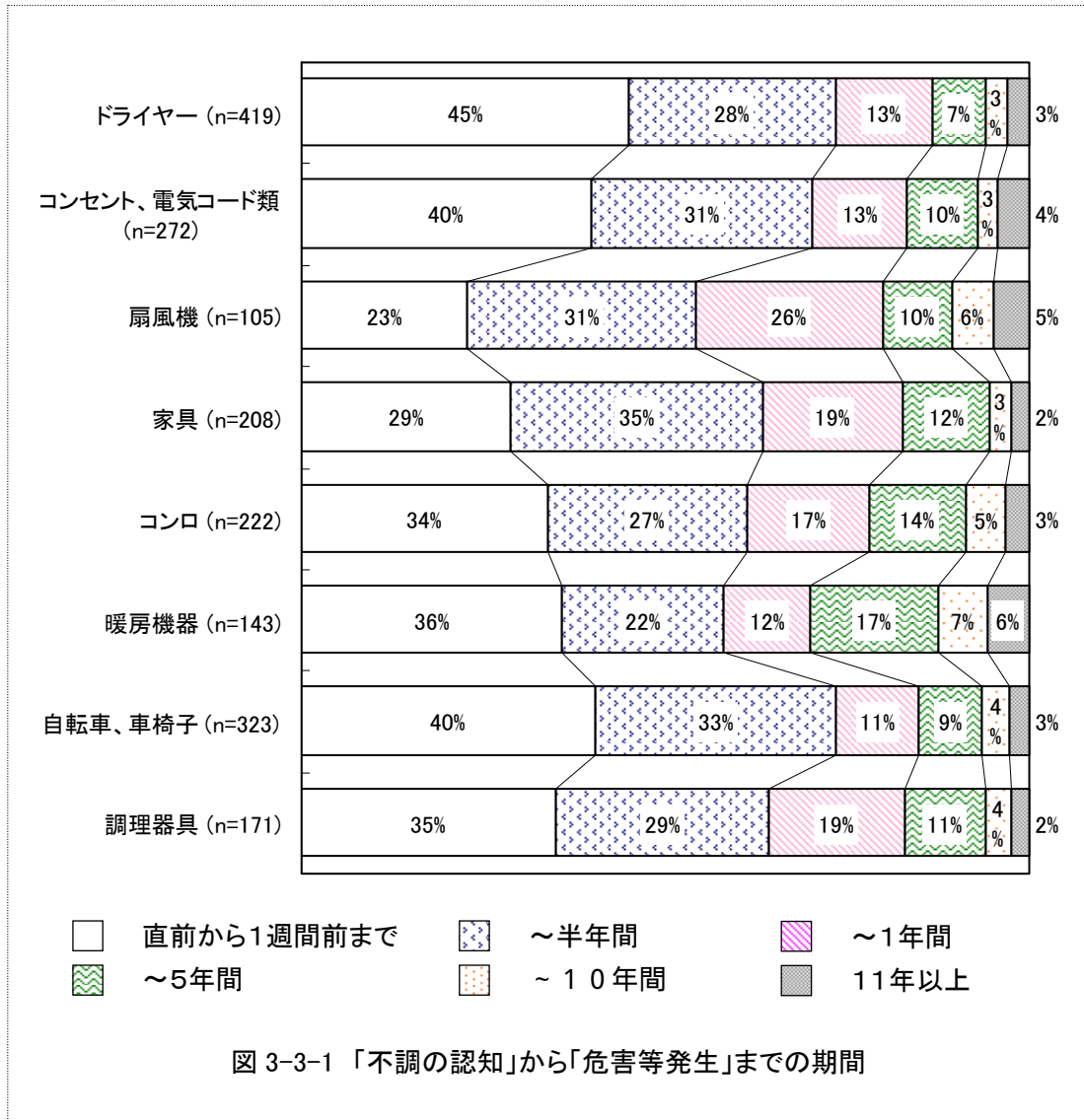
2 「～10年前まで：15%」「11年以上：19%」



(3) 「不調の認知」から「危害等発生」までの期間

調子が悪いことを知ってから、危害やヒヤリ・ハットが発生するまでの期間を質問した。

家具、扇風機を除き、最も多い回答は、「直前から1週間前まで」である。不調を感じた製品は、不調を抱えた状態で使い続らず、早急に修理等の対応が必要である。



(4) 「不調の認知」後の対応

ア 「不調の認知」後の対応

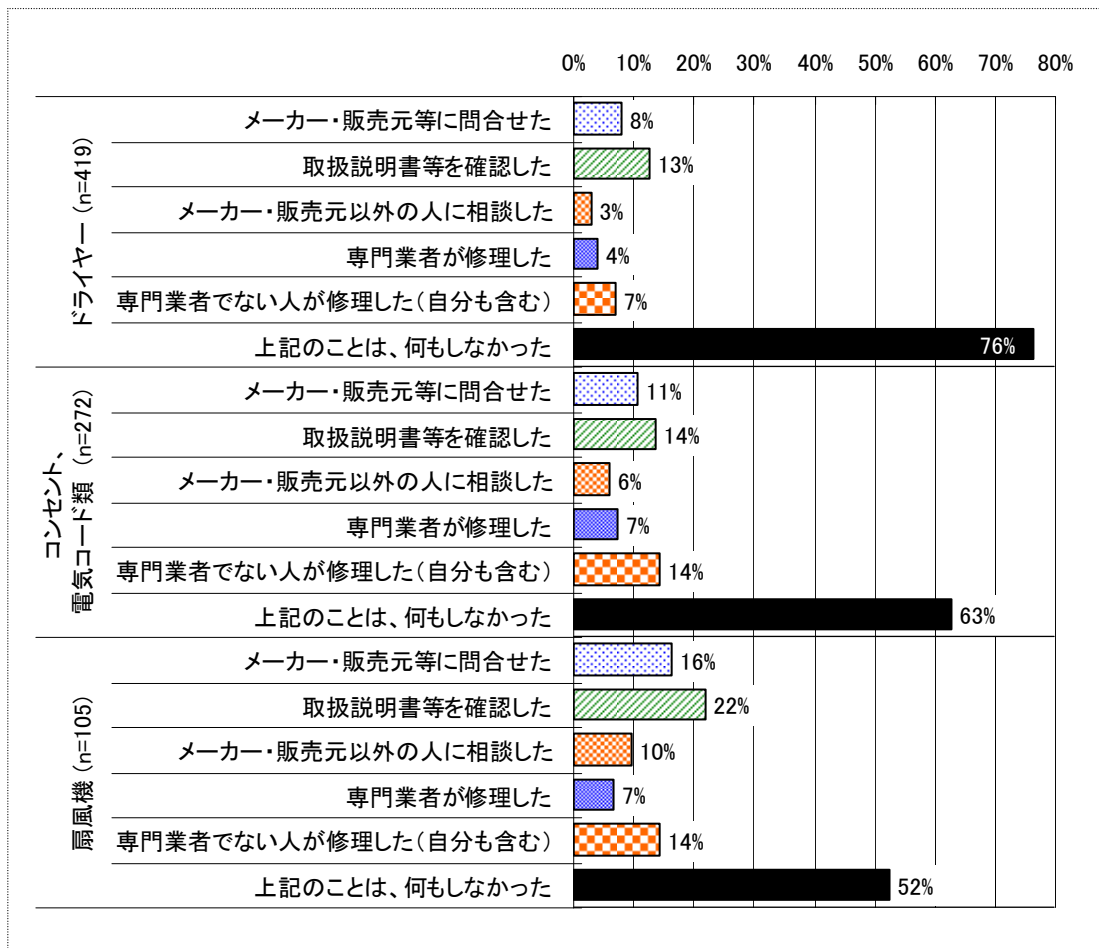
すべての調査対象品目で、最も多い回答は「何もしなかった」である。

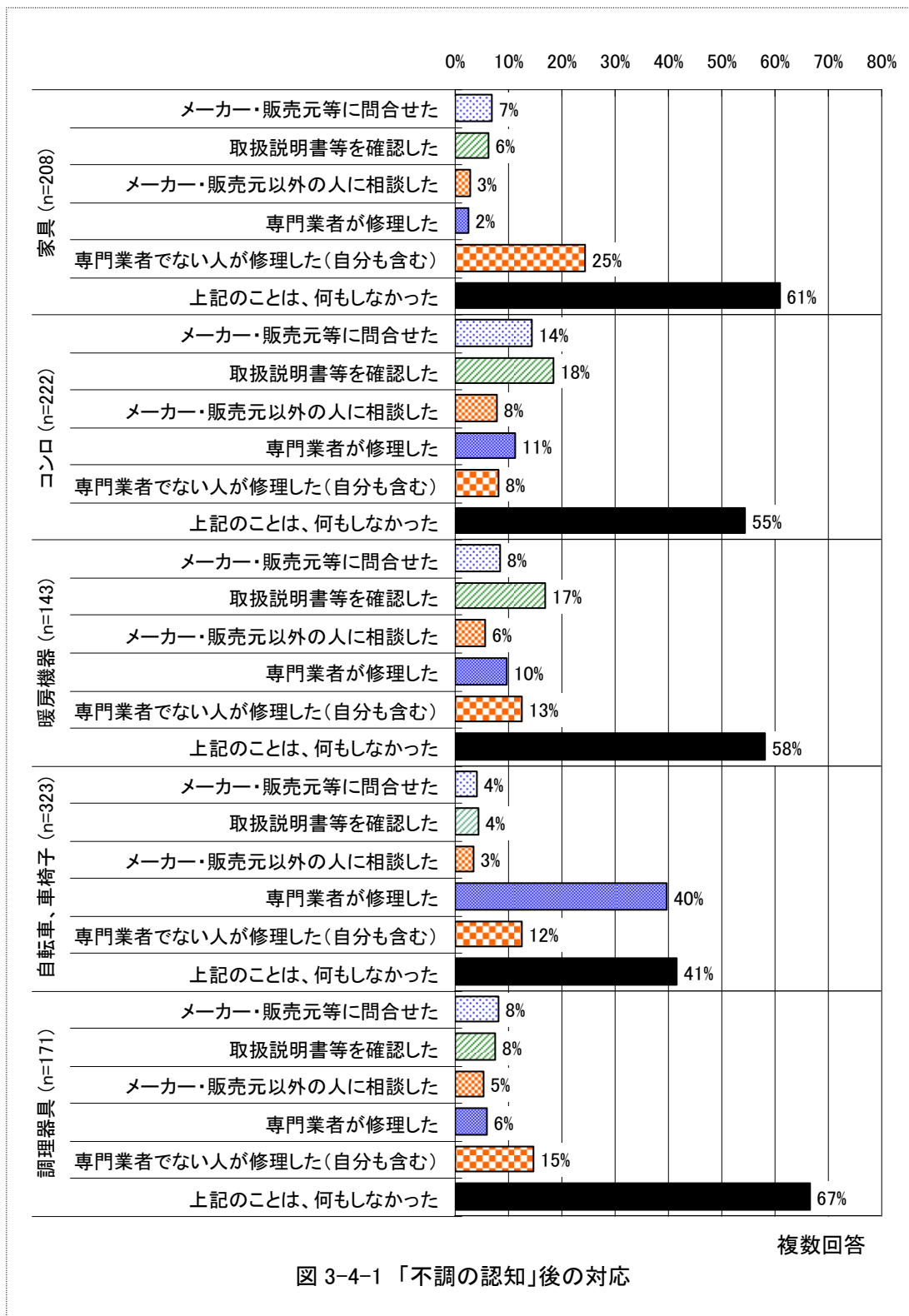
ドライバーは「何もしなかった」が調査対象品目中で最も高い割合（76%）で、「修理した」は調査対象品目中でも最も低い割合（専門業者 3%及び専門業者以外 4%）である。ドライバーは不調でも修理せず、使用を継続する傾向が高い。

自転車、車椅子は「専門業者が修理した」割合（40%）が高いが、それでも不調があり、結果危害等に至っている。危害等が修理箇所に起因したものは不明である。修理後も不調が続くならば、速やかに修理業者に相談して欲しい。

家具は「専門業者でない人が修理した」割合（25%）が最も高い。

扇風機は「取扱説明書等を確認した」割合（22%）が最も高く、取扱説明書を保管して利用する傾向が高いと推察する。

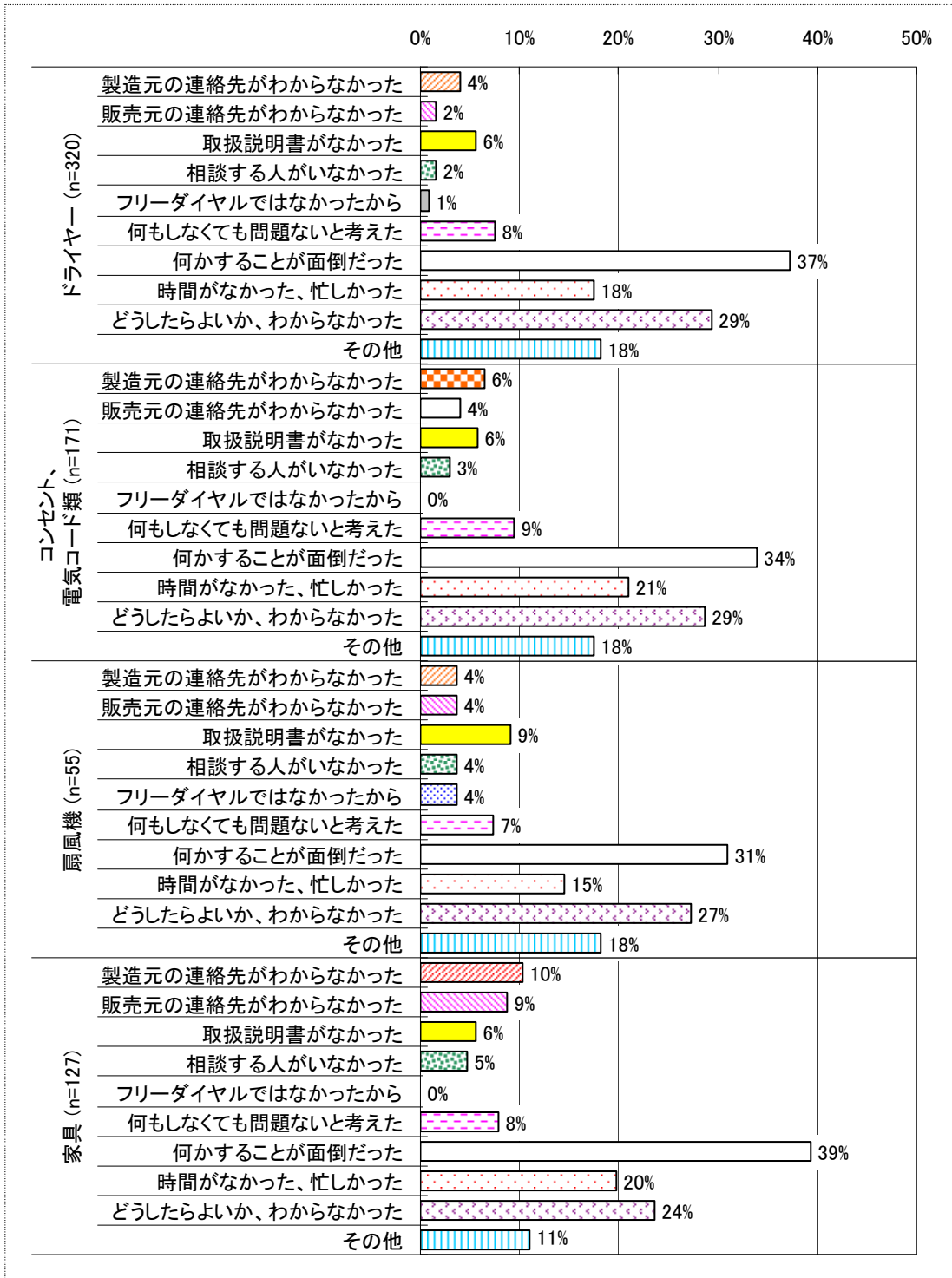


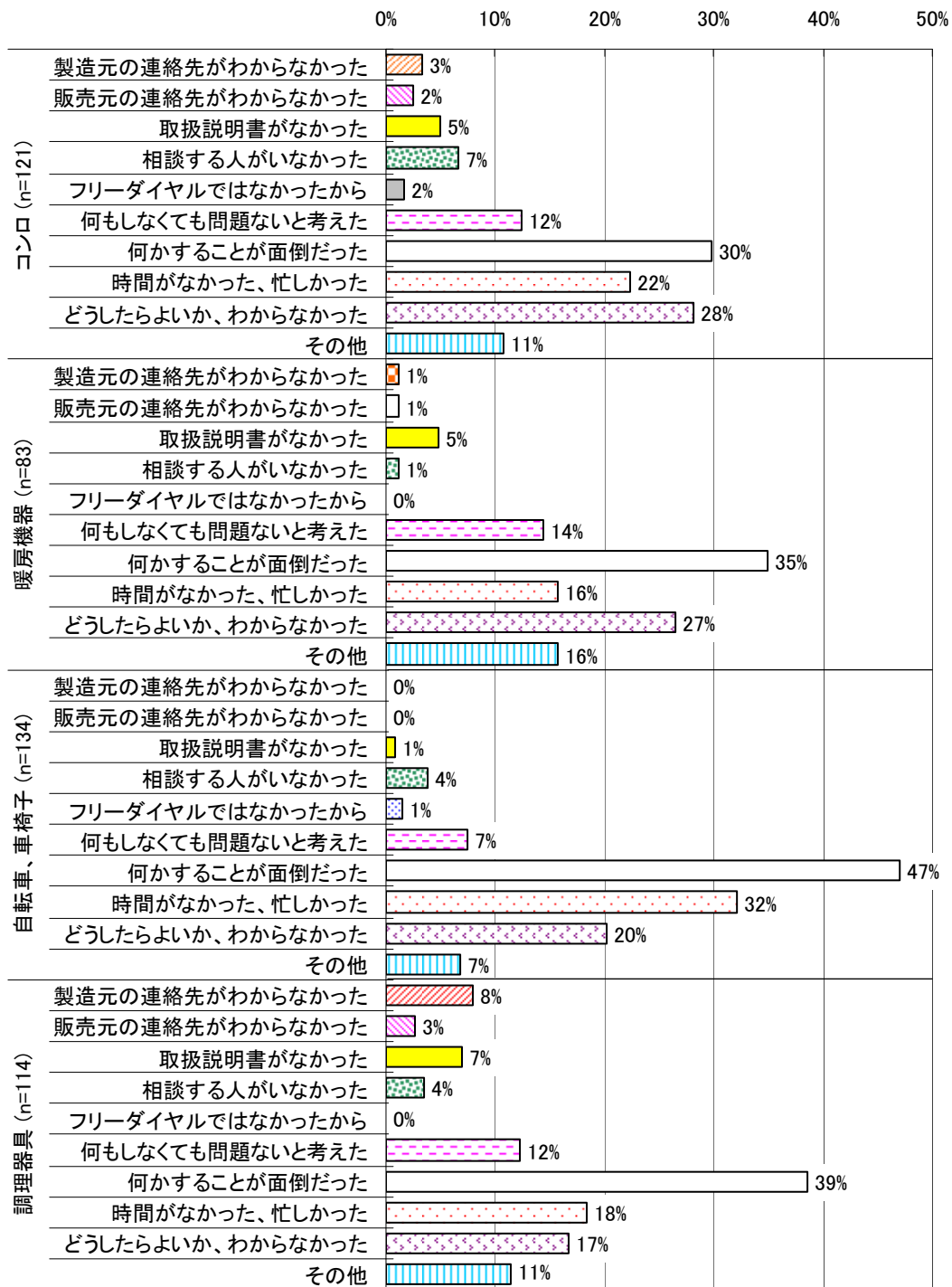


イ 「不調の認知」後の対応（何もしなかった理由）

「何もしなかった」と回答した人に、その理由を質問した。

いずれの調査対象品目でも「何かすることが面倒だった」が回答者の 3 割以上で、最多である。「どうしたらよいか、わからなかった」も多く、その割合は 2 位又は 3 位である。





複数回答

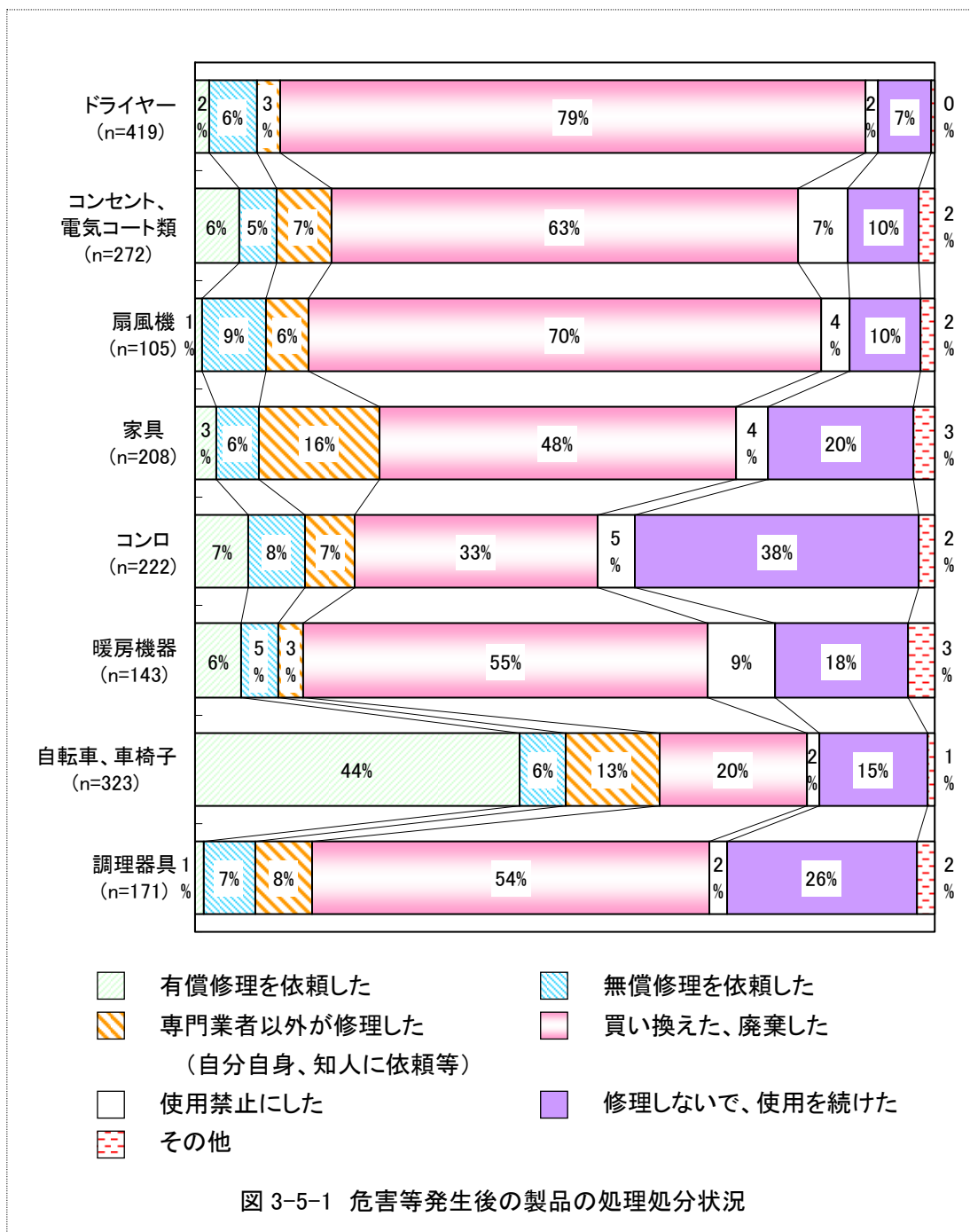
図 3-4-2 「不調の認知」後の対応(何もしなかった理由)

(5) 危害等発生後の製品の処理処分状況

危害等が発生した製品を処理・処分したかどうかについて尋ねた結果を図 3-5-1 に示す。多くの製品が「買い換えた、廃棄した」が多いなか、「自転車、車椅子」は「修理」の割合が6割以上と高く、なおかつ、有償修理の割合が高い。他の調査対象品目では、無償修理と有償修理がほぼ同数又は有償修理が少ない傾向である。

「買い替えた、廃棄した」割合が7割以上のものは、「ドライヤー」(79%)「扇風機」(70%)で、これらは修理対応しない傾向が高いと推察する。

「修理をしないで、使用を続けた」割合が2割以上は、「コンロ」(38%)「調理器具」(26%)「家具」(20%)である。危害が再発しないよう、適切な対応が望まれる。



(6) 調子が悪いことを知りながら製品を使った経験

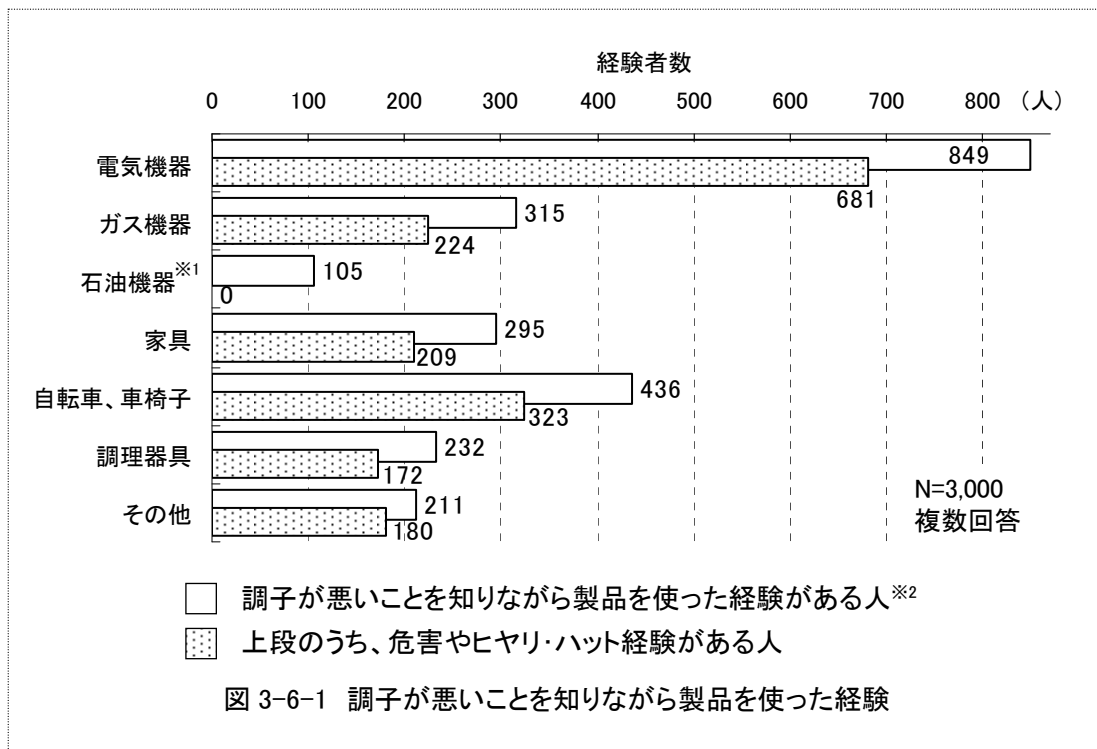
調査対象者 3,000 人に、調子が悪いことを知りながら使い続けた経験を尋ねた結果を表 3-6-1 に示す。

表 3-6-1 調子が悪いことを知りながら使い続けた経験

機器名	経験者数(人)	備考
電気機器	849	コンセント、電気コード類、ドライヤー、扇風機を含む
ガス機器	315	コンロを含む
石油機器	105	石油ストーブ、石油ファンヒーター、石油給湯器
家具	295	
自転車、車椅子	436	
調理器具	232	
その他	211	

不調を感じつつも製品を使い続けた経験者数(表 3-6-1)及び、使い続けて実際に危害等に遭った人数(p4 図 3-3-1)を比較した結果を図 3-6-1 に示す。

例えば、電気機器では、不調を感じつつ製品を使い続けた 849 人中 681 人(80%)が危害等に遭遇していると言え、不調な製品を使い続けていると危害やヒヤリ・ハットを経験する確率は高いと言える。



4 参考資料

- 1) 東京都生活文化局消費生活部「ヘアドライヤー電源コードに関する危険」
http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/enzen/test/dryeri_press.html
- 2) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「ヘアドライヤーからの出火」
<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0040.pdf>
- 3) 東京都生活文化局消費生活部「テーブルタップの過熱事故」
http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/enzen/test/table_press.html
- 4) 関東電気保安協会「壁の中に埋め込んであるコンセントの点検について」
<http://www.kdh.or.jp/safe/document/advice/04/46.html>
- 5) 一般社団法人 日本配線システム工業会「テーブルタップの安全点検をしましょう！」
<http://www.jewa.or.jp/check/check1.html>
- 6) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「電源コード・テーブルタップから出火」
<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0420.pdf>
- 7) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「電源プラグのトラッキング現象」
<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0050.pdf>
- 8) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「古い扇風機から出火」
<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0340.pdf>
- 9) 一般社団法人 日本電機工業会「快転せんぶうき 点検・お手入れ」
<http://www.senpu-ki.jp/01maintenance.html>
- 10) 一般社団法人 日本ガス協会「コンロ 機器の経年劣化による不具合事象」
<http://www.gas.or.jp/collabo/anshinken/safe/kitchen/stove/case/index.html>
- 11) 一般社団法人 日本ガス協会「接続具 機器の経年劣化による不具合事象」
<http://www.gas.or.jp/collabo/anshinken/safe/other/connector/index.html>
- 12) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「こんろとグリルの事故」
<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0750.pdf>
- 13) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「エアコンから出火・火災」
<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0460.pdf>
- 14) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「電気ストーブの事故」
<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0390.pdf>
- 15) 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会「石油機器の安全な使い方 石油暖房機器」
<http://www.jgka.or.jp/consumer/sekiryu-riyou/enzen-sekiyu/danbou/stove/index.html>
- 16) 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会「ガス機器の安全な使い方 ガス暖房機器」
<http://www.jgka.or.jp/consumer/gasu-riyou/enzen-gasu/danbou/stove/index.html>
- 17) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「生活安全ジャーナル第7号 特集 乗物の事故と安全」
http://www.nite.go.jp/jiko/journal/journal_vol07.pdf
- 18) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「自転車の製品事故防止のために」

- <http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0800.pdf>
- 19) 東京都青少年・治安対策本部「東京都自転車点検整備指針」
http://www.seisyounen-chian.metro.tokyo.jp/koutuu/07_jitensha-guidelines.html
- 20) 東京都生活文化局消費生活部「ガラス製なべぶたの破損事故」
http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/nabebuta_press.html
- 21) 東京都生活文化局消費生活部「台所に潜む危険」P.28～37
http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/documents/taiken_kitchen.pdf
- 22) 経済産業省「製品の不具合を見つけたら」
http://www.meti.go.jp/product_safety/guidance/03.html
- 23) 経済産業省「消費者のみなさまへお願い」
http://www.meti.go.jp/product_safety/guidance/04.html